



夕刊 行發日六十月六 文部省印刷局印刷

東洋藝術への道

島田忠夫

東洋人がおのれの東洋の學上の、散文にあらざるは、
藝術深遠幽玄なるものに觸るとは詩歌においては、
「た」とは凡兆の『木の...』
「た」とは凡兆の『木の...』
「た」とは凡兆の『木の...』

六月

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

雲の六月、山の裏から
げんげり列るのは梅雨の人びと
託兒所氣なる田植これから
旅行
處女地ぐんぐん汽車に近づくと
旅館の女中に親しむひと

偶成

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

偶成 (其二)

珠露 小野務平

低歌後夜燈青
酒池令我沈沈
狂杜如今夢始醒

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清

高橋是清



和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

和喜次の心から何故かあ
の日の彼の姿が汚點のやう
に消えなかつた。何かを
示すかのやうに、心の何
處かで無気味な愛眼が時折
きらりと光つた

日本石油株式會社特約店
關影商店平支店
本店 電話 六一番
支店 電話 六一番

木村外科醫院
平町六丁目(橋際)
電話 三〇九

照山株式平支店
主任常盤光威
電話 四一六番

西村屋藥舖
カメラ部
電話 二・電三

實家、静岡産地、茶問屋
製産家カラ直接需用家へ
香味自慢生一本小笠銘茶

卸小賣 大角園
平町板橋小路

男、女學生夏服
其他漸新及一般夏服特賣

高島屋洋服店
注文並に既製品
電話 三三八番

亞鉛鍍金所 開業
平町字大町五番地 亞鉛メッキ所

上田醫院
病室完備 (電話 二一九)

六戸屋商店
電話 四二五番

郡山腦病院
電話 九二五番

おでん 一平の
鳥の鹽蒸し
電話 二六三番

精神科
腦脊髄科
神經科

郡山腦病院
電話 九二五番

六戸屋商店
電話 四二五番

外務社員募集
電話 四〇七番

上田醫院
病室完備 (電話 二一九)

亞鉛鍍金所 開業
平町字大町五番地 亞鉛メッキ所

おでん 一平の
鳥の鹽蒸し
電話 二六三番

高島屋洋服店
注文並に既製品
電話 三三八番

實家、静岡産地、茶問屋
製産家カラ直接需用家へ
香味自慢生一本小笠銘茶

卸小賣 大角園
平町板橋小路

男、女學生夏服
其他漸新及一般夏服特賣

高島屋洋服店
注文並に既製品
電話 三三八番

おでん 一平の
鳥の鹽蒸し
電話 二六三番

